

Mirai研レポート

国際的な教育プログラムを研究する高校

『国際的な教育プログラムを研究する高校』

県立高校「未来の学校」実践校に指定されました（令和2～6年）

国際的な教育プログラムについて研究し、国際社会で活躍できる資質・能力を育成する教育課程を開発するとともに、海外大学進学希望者のためのプログラムを構築することを目標にしています。

- ・国際社会で活躍できる資質や能力の育成
- ・新たな時代における「生徒につけたい力」の明確化
- ・新たな学びの指導・評価方法の開発と共有
- ・海外進学支援体制等、幅広い進路選択への対応



前回のレポートで「6つのプロジェクトを進める」ことをお伝えしました。その中で、具体的に皆さんに何をして頂くのか担当ごとに簡潔にまとめました。基本的に**どれか一つ以上に関わって頂きたい**と思います。

※6つのプロジェクトですが、担当を兼ねている部分があるため、以下の**4つ**にわけてご紹介します。※以下敬称略

F-ループリック・観点別評価（担当：白田）

主に関わる職員
1学年の授業担当者

主にやること【F-ループリック・観点別評価を用いた実践】

- ・5月までを目途にプロジェクトの説明会、情報交換会
- ・年間を通して各教科で実践し、その情報を共有
- ・ループリック・観点別評価に関しての分析・検証を行う中で問題点や課題を明らかにし、質を高める

F-教科指導・単元計画（担当：丸山）

主に関わる職員
2学年の授業担当者（各科目1人ずつ）

主にやること【F-単元計画を用いた実践】

- ・5月までを目途にプロジェクトの説明会
- ・12月までに各科目で実践（中間報告会あり）
- ・授業実践後、生徒アンケートをとり分析
- ・1or2月頃にまとめの報告会

新学校設定科目「世界の中の日本」（担当：飯田）

主にやること
【新学校設定科目「世界の中の日本」の計画・実践】

- ・計画をたて、実際に7月、11月に授業実践を行い、分析・検証を行う中で問題点や課題を明らかにし、質を高めていく

F-進路指導・留学指導（担当：岩澤・山田）

主にやること
【本校を卒業後、海外進学を希望する生徒のサポート、そのための土台作り】

- ・新学校設定科目「アカデミックスキル」の計画立案
- ・留学講座の実施

国際科研究室に委員会本部を置き、月曜日の5時間目に打ち合わせをしています。研究3年目の今年度は、実践の数を増やし、分析・検証を重ねていく1年になります。お忙しい中かとは思いますが、**飯田風越高校全職員で研究を進めていく**ことが必要不可欠です。研究へのご協力お願いいたします。

生徒・保護者版Mirai研レポート 「みんなの未来レポート」を発行します

目的

未来の学校事業について生徒・保護者への周知・広報

配布方法

- 1・2学年・・・クラス掲示、配信メール、
+classroomのストリーム（担任から補足説明）
- 3学年・・・クラス掲示、配信メール（担任から補足説明）
- 保護者・・・配信メール
- 一般・・・HP掲示

